

蘭の育て方

松岡隆志

胡蝶蘭 (ファレノプシス)

性 質

- 寒さに弱い (最低 10℃以上)
- 葉焼けしやすい
- 新しい葉が 2～3 枚つくと、花が咲く

年に 2 回花の咲かせ方

- 花茎の切断時期：花茎の先端の花が咲いて、2、3 週間以内
- 切断箇所：根本から 2 カ所目の節の上
- 2 回目の開花時期：初夏

(開花後は、花茎を根元から切断する)

花後の管理

- 植えかえ

必要性：株が鉢からはみ出したとき

時期：八重桜の咲く頃

鉢：素焼き (通気性がよい)、蘭鉢 (根が長く伸びるため)

小さめのサイズ (鉢内に無駄な水や肥料を残さないため)

植え込み材：水苔

- 戸外へ置く時期

八重桜の咲く頃～10月始め (最低温度が 20℃になったら、室内に取り込む)

- 日光

50%程度の遮光 (パフィオペディラムと並んで最も葉焼けしやすい)

風通しの良いところ

- 肥料

種類：油粕と骨粉を固めた物 (鉢一寸当たり 1 個、一回交換/月)、マグアンプ

液体肥料 (2000 倍に希釈、1 回/週)、

時期：八重桜の咲く頃～9月

9月に磷酸系の肥料を多めに施すと花着きが良い

- 水やり：

時期 5～9月 鉢の表面が乾いたら (毎日)

それ以外の時期 鉢の表面が乾いてから、2、3日後 (根腐れ防止)

カトレア

性 質

- ・葉焼けしやすい
- ・新しいバルブの大きくなると、花が咲く。

開花期：

1～3月（品種としては少ないが、夏咲きもあり）

花後の管理

- 植えかえ
必要性：株が鉢からはみ出したとき
時期：八重桜の咲く頃
鉢：素焼き（通気性がよい）、蘭鉢（根が長く伸びるため）
小さめのサイズ（鉢内に無駄な水や肥料を残さないため）
植え込み材：水苔
- 戸外へ置く時期
八重桜の咲く頃～10月始め（最低温度が15℃になったら、室内に取り込む）
- 日光
50%程度の遮光（葉焼けしやすい）
風通しの良いところ
- 肥料
油粕と骨粉を固めた置き肥
（鉢一寸当たり1個、新芽が伸び始めて～6月 交換一回／月）
マグアンプ等の磷酸系肥料（6月～9月）
液体肥料（2000倍に希釈、1回／週）（八重桜の咲く頃～9月）
- 水やり：鉢の表面が乾いたら（5～9月毎日）
鉢の表面が乾いてから、2、3日後（冬）（根腐れ防止）



C. purpurata semi-alba
花径～10cm
原種で花着きが良い

シンビジウム

性 質

- 寒さに強い（5℃以上）
- 水を好む
- 肥料を必要とする
- 日光を好む
- 新しいバルブの大きくなると、花が咲く

開花期：

1～3月（品種としては少ないが、夏咲きもあり）

花茎の切断時期：

花茎の先端の花が開いたとき（株を疲れさせないため）

切断箇所：根元

花後の管理

- 植えかえ
必要性：株が鉢からはみ出したとき
時期：八重桜の咲く頃
鉢：プラスチック鉢、蘭鉢
小さめのサイズ（鉢内に無駄な水や肥料を残さないため）
植え込み材：バーク+軽石
- 戸外へ置く時期
八重桜の咲く頃～（最低温度が6～7℃になったら、室内に取り込む）
- 日光
直射日光で良い（少し葉焼けする場合がある）
風通しの良いところ
- 肥料
種類：油粕と骨粉を固めた物（鉢一寸当たり1個、一回交換/月）、マグアンプ
液体肥料（1000倍に希釈、1回/週）、
時期：八重桜の咲く頃～8月
9月に窒素系肥料を切り、リン酸系の肥料を多めに施す
（窒素系肥料が多いと葉芽ばかりになる）
- 花を咲かせる秘訣
芽欠き：芽の数を制限するため、余分な芽を折り取る。目安は、1本/バルブ。



デンドロビウム（ノビル系：茎の周囲に花が付く）

性 質

- ・寒さに強い（最低10℃以上）
- ・新しい茎を充実させると、花が咲く。

開花期：

1～3月

花後の管理

- 植えかえ

必要性：株が鉢からはみ出したとき

時期：八重桜の咲く頃

鉢：素焼き（通気性がよい）、

蘭鉢形状ではなく通常の形、

小さめのサイズ（鉢内に無駄な水や肥料を残さないため）

植え込み材：水苔

- 戸外へ置く時期

八重桜の咲く頃～最低温度が6～7℃になったら、室内に取り込む

- 日光

30%程度の遮光

風通しの良いところ

- 肥料

八重桜の咲く頃～6月

油粕と骨粉を固めた物（鉢一寸当たり1個、一回交換/月）、マグアンプ

液体肥料（2000倍に希釈、1回/週）、

7月～8月：リン酸だけ（窒素分は与えない）。商品名バッドグアノ（コウモリの糞）が良い

- 水やり

八重桜の咲く頃から9月まで：鉢の表面が乾いたら、毎日

冬：鉢の表面が乾いてから、2、3日後（根腐れ防止）

- 花芽を付ける秘訣

- ・窒素肥料：6月まで

- ・水やり：9月中旬以降週1回にして、植え込み材を乾かす。

（茎は、8月まで膨らんでいるが、水を切るとシワが出てくる）

（葉が落ちることもあるが、問題ない）

- ・14℃以下の低温に2週間当てる。



ユキダルマクイーン



スプリングジュエル ミキ

セッコク (品種としては、ギンギアナムなど)

性 質

- 寒さに強い (5℃以上)
- 新しいバルブを充実させると、花が咲く
- 花の香りは、蘭類の中でかなり強い方

開花期：

1～3月

花後の管理

- 植えかえ

必要性：株が鉢からはみ出したとき

時期：八重桜の咲く頃

鉢：プラスチック鉢、蘭鉢

小さめのサイズ (鉢内に無駄な水や肥料を残さないため)

植え込み材：バーク+軽石

- 戸外へ置く時期

八重桜の咲く頃～10月中頃 (最低温度10℃程度)

- 日光

30%程度の遮光

風通しの良いところ

- 肥料

種類：油粕と骨粉を固めた物 (鉢一寸当たり1個、一回交換/月)、マグアンプ

液体肥料 (1000倍に希釈、1回/週)、

時期：八重桜の咲く頃～9月



セロジネ（品種としては、インターメディアなど）

性 質

- ・水が好き
- ・新しいバルブ（四角錐状）を太らせると、花が咲く
- ・花茎が垂れ下がり、一本の花茎に多輪咲く

開花期：

1～3月



インターメディア

花後の管理

● 植えかえ

必要性：株が鉢からはみ出したとき

時期：八重桜の咲く頃

鉢：素焼き（通気性がよい）、浅い鉢がベター（根が下方高に余り伸びないため）

小さめのサイズ（鉢内に無駄な水や肥料を残さないため）

植え込み材：水苔

● 戸外へ置く時期

八重桜の咲く頃～10月中頃（最低温度10℃程度）

● 日光

30%程度の遮光

風通しの良いところ

● 肥料

油粕と骨粉を固めた置き肥

（鉢一寸当たり1個、新芽が伸び始めて～6月 交換一回／月）

マグアンプ等の磷酸系肥料（6月～9月）

液体肥料（2000倍に希釈、1回／週）（八重桜の咲く頃～9月）

● 水やり：鉢の表面が乾いたら（5～9月は毎日）

鉢の表面が乾いてから、2、3日後（冬）（根腐れ防止）



インターメディア

クリソトキザム

育て方：デンドロビウムのノビル系と同じ



鉢の直径 21 c m



君子蘭（上述の洋蘭と種類が全く異なる）

性質

- ・葉焼けしやすい
- ・新たに7～8枚の葉が出ると、花が咲く
- ・葉の形状から“木立性”（葉が立っている）や“ダルマ系”（葉が垂れる）がある



ダルマ系君子蘭

開花期：

3～6月

開花

下部の中央から花茎が立ち上がる。

この時、温度が高すぎると、葉の上に花茎が伸びる前に花が咲き出してしまう。

温度が低ければ、葉の上に花茎が伸び、姿が良くなる。

花後の管理

- 花茎の切り取り
花が咲き終わったら、花茎を下の方から切り取る。
- 植えかえ
必要性：株が鉢からはみ出したとき
時期：八重桜の咲く頃
鉢：駄温鉢（鉢上部の縁：褐色、下部：煉瓦色）焼き
小さめのサイズ（鉢内に無駄な水や肥料を残さないため）
植え込み材：赤玉土
- 戸外へ置く時期
八重桜の咲く頃～11月初旬
- 日光
50%程度の遮光（葉焼けしやすい）
風通しの良いところ（強風に当たると、葉が折れる）
- 肥料
油粕と骨粉を固めた置き肥
（鉢一寸当たり1個、八重桜の咲く頃から10月まで 交換一回／月）
マグアンプ等の磷酸系肥料（同上）
- 水やり：鉢の表面が乾いたら（5～11月初旬 毎日）
鉢の表面が乾いてから、2、3日後（冬）（根腐れ防止）

クジャクサボテン・月下美人

性 質

- ・葉焼けしやすい
- ・サボテンの仲間なので、乾燥気味を好む

開花期：夏

開花

茎のへこんだ部分（くびれ）から花茎が立ち上がる。

花後の管理

- 花柄を取り除く。（種ができると株が疲れるので。）
- 植えかえ
必要性：根が張りすぎると、生育できなくなるため。
タイミング：土の上から水を掛けて、水がスムーズに染み込まなくなったとき。
時期：八重桜の咲く頃から秋にかけて。
鉢：駄温鉢（鉢上部の縁：褐色、下部：煉瓦色）焼き
小さめのサイズ（鉢内に無駄な水や肥料を残さないため）
植え込み材：赤玉土
- 戸外へ置く時期
八重桜の咲く頃～11月初旬
- 置き場所
真夏の直射日光が当たらないように。（葉焼けしやすい）
風通しの良いところ
- 肥料
油粕と骨粉を固めた置き肥
（鉢一寸当たり1個、八重桜の咲く頃から10月まで 交換一回／月）
マグアンプ等の磷酸系肥料（同上）
- 水やり（根腐れに注意）
冬以外：鉢の表面が乾いてから、2、3日後
冬：鉢の表面が乾いてから、1週間後程度



クジャクサボテン 花径>10cm